

児童相談所中堅児童福祉司・児童心理司合同研修

1 目的

児童虐待対応等における児童相談所の中心的職員としての役割を担えるよう、児童虐待に関する知識・実務能力の向上と専門職種間の協働の促進を図る。

2 テーマ

「児童虐待の実態と児童相談所の課題」「児童福祉司と児童心理司の協働」「性的虐待が心身に及ぼす影響」「ケースの見立て」「市町村・関係機関との連携」

3 対象 児童相談所の中堅クラスの児童福祉司又は児童心理司で、**児童相談所経験3年以上5年以下の者**

4 期間 平成21年2月3日（火）～2月6日（金）

5 内容

	時間	科 目	講 師	内 容
1 日 目 午 後	13:00	開 会		
	13:30	【講義1】 児童虐待と児童相談所の課題	厚生労働省雇用均等・児童家庭局	児童虐待の現状や法制度の改正を踏まえ、改めて、児童虐待対応における児童相談所に課せられた役割や課題についての認識を深める。
	14:30			
	14:45	【グループ討議1】 児童相談所における専門職の協働と課題 (情報交換)	参加者	児童福祉司と児童心理司から見たそれぞれの専門職間の協働と課題について、意見・情報の交換を行う。
	17:30			
	17:45	【交流会】		
	19:30			
2 日 目 午 前	9:30	【講義2】 児童虐待と生命の危機 －救急医療の現場から－	小児救急医療機関 医師	小児救急医療現場に搬送される児童虐待ケースには、生命の危機に直結した深刻な事例が少ない。救急医療現場からみた児童虐待の実態を通して、あらためて虐待対応の役割の大切さを学ぶ
	12:00			
2 日 目 午 後	13:00	【講義3】 児童虐待対応における市町村との連携	学識者 児童相談所経験者	児童虐待対応は、市町村の要保護児童対策地域協議会との連携が不可欠である。的確な虐待対応に向けた連携のあり方について学ぶ。
	15:00			
	15:15	【講義4】 性的虐待の心身に及ぼす影響	児童精神科医等	日本における性的虐待の実態と対応の現状や、性的被害が子どもの心身に及ぼす影響について認識を深める。さらに、性的被害を受けた子どもの理解と援助を行うための視点等についても学ぶ。
	17:00			

	時間	科 目	講 師	内 容
3 日 目 午 前	9:30 11:30	【講義5】 ケースの「見立て」について	精神科医	子どもと親の生育歴、家族状況、医学的所見、心理診断、行動観察、関係機関情報など多角的な視点からの情報をもとに、ケースの全体像を把握した上で問題点を抽出し、これに対応する援助方針を設定する「見立て」について学ぶ。
3 日 目 午 後	12:30	【事例検討1】	報告者：参加者 助言者： 精神科医 児童相談所経験者	参加者から提出された児童虐待ケース（初期介入、家族再統合、親支援を含めた在宅指導）について事例検討を行う。（担当した児童福祉司と児童心理司による共同事例発表を予定）検討は、6つのグループのうち、3グループは合同で、残り3グループはそれぞれで行う。
	14:30	【事例検討2】	同上	事例検討1で別々に検討した3グループは合同で、合同であったグループは3グループに分かれて、事例検討を行う。
	15:00 17:00			
4 日 目 午 前	9:30 11:30	【講義6】 家庭裁判所との連携	家庭裁判所調査官	法第28条事案を中心に児童相談所と家庭裁判所とが関わる機会が増えている。実務面からの家裁との適切な関わり方を学ぶ。
4 日 目 午 後	12:30	【グループ討議2】 児童虐待対応における児童福祉司と児童心理司との協働について	参加者	児童福祉司と児童心理司との協働がスムーズに行われるための工夫や情報交換を各グループで行い、最後に全体会で報告、共有する。
	15:30 16:00	終 了		